

議会ニュース



市民生活委員会 管外行政視察

市民生活委員会では、7月23日から24日まで、京都府京丹後市、綾部市への管外行政視察を実施しました。

京丹後市では「公共交通」について、視察を行いました。同市は人口減少や地理的条件から、人手不足で地元バスも路線維持に苦しんでおり、タクシー業界も運転手不足で地域から撤退する会社もあります。そのためAIオンデマンドモビリティ、住民で組織するささえ合い交通が始まっています。高梁市においても、地域の実情に応じた公共交通の施策に取



▲綾部市での視察

り組んでいくべきと感じました。

綾部市では「移住・定住の取り組み」について視察しました。全国に先駆けて移住希望者のワンストップ窓口「定住サポート総合窓口」を設置し、定住支援のスタッフが空き家バンクの紹介はもちろんのこと、自治会への加入説明や地域での

産業経済委員会 管内行政視察

あいさつ回りへの同行など定住希望者に寄り添った取り組みを行っています。また将来を見据えて小学生を対象にふるさと教育ということで、市長自らが学校へ出向き綾部市の魅力について語り、郷土愛を育み将来的に綾部市の定住へつなげていく取り組みなどを実施しており、参考とすべき事例であると感じました。



▲高梁自然公園キャンプ場のロッジを視察

産業経済委員会では、7月25日、前回の弥高山公園などに続き、キャンプ場のある高梁

総務文教委員会 管内行政視察

自然公園、高梁美しい森の管内行政視察を行いました。今回の両施設共に管理状態は良いのですが、やはり施設の老朽化が見受けられました。キャンプ場の利用者については、コロナ禍で減少したとの説明がありました。キャンプブームの昨今、利用者の増加を望むならば施設の改修と併せ、利用客へのPRなどが必要だと感じました。

総務文教委員会では、7月16日、来春開校される有漢学園の進捗状況を把握するために、有漢東小学校と建設中の有漢学園の視察を行いました。

有漢東小学校では、児童が取り組んでいる朝モジュール（百マス計算、音読など）を全年視察しました。委員からは徹底反復学習の取り組み状況や、児童の机での姿勢など

について質疑が行われました。

建設中の有漢学園では、既存施設と増築部分の接合部を確認したり、木材をふんだんに使用した増築部分の教室を見学しました。委員からは工程の確認や今後の工事内容について質疑がありました。



▲有漢学園の建設現場を視察

第54回岡山市議会 議員研修会が高梁市で開催

8月8日に高梁総合文化会館で、第54回岡山市議会議員研修会が開催され、県下15市より市議会議員が集まりま

した。

研修会では「議員のなり手不足と地方議会改革」と題して東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村和徳氏から講演がありました。中でも「議員を減らせ」「議員の報酬は高い」などの声は矛盾する提案でもあると話されました。また、議員定数削減では、当選ラインが上がり立候補しづらくなるなどの問題が指摘されました。

地方分権、地方創生の時代と言われて久しいですが、議員のレベルアップ（議員個々の研修、大学などの専門家との連携）、議会のレベルアップ（多様な意見を聴く議会）が必要であるとの内容でした。市民からの信頼醸成の一丁目一番地として、議会の「見える化」を進めていくことが「議員のなり手不足解消」の第一歩であると思いを新たにした研修会でした。



▲議員研修会の様子

小学生が 議会を見学しました

6月21日に福地小学校の3・4年生、6月24日には松原小学校の6年生が高梁市議会を訪問しました。市議会の仕組みについて説明を受けた後、議場を見学しました。こういった経験の積み重ねが、若者の政治への関心の一歩になればと思います。

▼松原小学校の6年生



▲福地小学校の3、4年生

